学校番号	1204

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰや美術Ⅱで習得した技法や表現方法を生かしながら、より扱いが難しい素材や制作工程が複雑な分野に挑戦していきます。先を見通し、計画的に制作を進める力を身につけていきましょう。最後は卒業制作展で発表することを目標にしています。
・自分の作品について制作意図を他者に伝えること、他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有し、自分の制作に生かすことができるように「鑑賞」の時間も大切にします。日本や世界の美術作品についてもたくさん触れていきます。

2　学習の到達目標

・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	出席状況 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 完成レポート 鑑賞活動やグループワークでの発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション・蝋に描く　ドローイング	【絵画】【鑑賞】 ・オリエンテーション 「美術Ⅲ」の年間の学習イメージをつかむ。 ・「針で描くドローイング」 ①ドローイングワーク 感情、想いを線にするワーク ②相互鑑賞 自分では発見できなかった線の表現を他者の作品から見つける。 ③紙に蝋を塗り、針で描く。その後、針で描いたところにインクを塗りこみ、新聞紙をかぶせ、アイロンで熱し、蝋を吸い取る。 ・完成レポート	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習と制作に意欲を高めている。新しい表現方法に興味を持ち、積極的、主体的に制作や鑑賞活動に取り組んでいる。 b:線の強弱や表情など、その多彩さと効果を意識し、イメージが深められている。伝えたいイメージを明確に持ち、構想を練っている。自分らしい表現が追求できている。 c:表現したい意図と多彩に変化する線の効果を理解した制作となっている。制作の工程を理解し、計画的に制作が進められている。 d:自分の作品のよいところ、表現で成功したところを見つけることができる。他者の作品の主題や作者の表現意図を理解し、効果的な表現の工夫などを自分の作品に生かすことができる。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート ・鑑賞活動の様子や発言内容
	そつくり　擬態カードづくり	【絵画】 【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・はがきサイズの枠を作り、切り取る景色(場所)を探す。 ・スケッチ、下描き 鉛筆でイラストボードに薄く下描きをする。 ・着彩 アクリル絵の具でよく観察し、リアルに着色する。 ・撮影してみよう！ 擬態カードを実際の場所において撮影してみる。 ・完成レポート、展示	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:課題に関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:独創的に発想し、切り取る景色を見つけている。モチーフをよく観察し、色彩について実物に迫るための表現の工夫と構想を練っている。 c:アクリル絵の具を混色し、モチーフの持つ色彩に迫っている。 カメラの扱い方を理解し、視点や撮影法に生かすことができている。仕上がりが美しい。 d:自分の作品の表現で工夫したところや成功しているところを説明でき、他者の作品のよさや表現の工夫を見つけることができる。	・出席状況 ・活動の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート

	文化祭・体育祭のポスター制作	【デザイン】【鑑賞】 「文化祭・体育祭のポスター制作」 ・文化祭か体育祭のどちらかのポスターを制作する。素材、技法は自由。 ①アイデアスケッチ 何通りもアイデアを描き、班ごとにそれぞれの作品対して、意見を交換し合い、アイデアをまとめる。 ②本制作 ボードに下描きし、着色する。文字を丁寧にいれる。 ③発表と展示 校内展示し、文化祭と体育祭への雰囲気を高める。	○ ○ ○ ○	○	○	○ ○	a:表現することやテーマに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的、積極的に取り組んでいる。 b:テーマをふまえ、感性や想像力を働かせて、意図が伝わる表現は何かを追求し、表現効果やアイデアが練られている。配色や彩色方法について自分らしい表現の構想を追求している。 c:目的や意図に応じて画材や用具を選び、その特性を生かした表現がされている。制作の工程を見通しながら、計画的に制作が進められている。 d :自分の作品について理解を深めることができる。他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを読み取り、その作品に対してより良いアイデアや自分の意見を伝えることができる。	・出席状況 ・活動の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・鑑賞活動やグループワークでの発言内容 ・完成レポート
2学期	私のイチオシ！紹介	【鑑賞】 それぞれの「イチオシ！作品」を共有しよう！ ①模写 はがきサイズのイラストボードに模写する。 ②コメント用紙 作品について調べたことを模写も含めてボードにまとめる。 ③校内展示	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作者の想いや作品について理解しようとしている。 b:自分の調べた作品についてわかりやすく、他者が興味をもって見られるような表現の工夫がワークシートになされている。 c:表現の意図に応じて選んだ画材の特性を生かし、条件や色彩計画を基に制作が進められている。計画的に制作が進められている。 d:美術作品のよさや美しさ、表現の特徴、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、自分が感じたことや考えたことをまとめることができる。	・出席状況 ・活動の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・鑑賞活動やグループワークでの発言内容 ・完成レポート

2学期	ステンドグラス（基礎・技法習得）	【工芸】【デザイン】 ・透明ガラスを使ってガラスのカット練習をする。 ・カットしたガラスや割れガラスを用い小品制作。 5ピース程度の作品をつくることで全行程を体験する。 ・振り返りプリント 制作工程をふりかえり、反省ポイントをあげる。	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:ステンドグラスの技法に興味を持ち、それぞれの工程を理解しようと積極的に取り組んでいる。 b:素材と技法のデザイン上の制約をふまえながら、創造的に表現している。 c:各工程での用具の使い方を理解し、適切に用いている。 d:各工程を振り返りながら、自分の作品を観察し、作業上の反省点を整理できている。	・出席状況 ・活動の様子 ・制作途中の作品 ・完成作品 ・振り返りレポート
	ステンドグラス（応用・鏡のあるデザイン）	「鏡のあるデザイン」 ・図案制作 鏡を効果的に使ったデザインを考える ・ガラスカット 完成イメージに基づき、ガラスの質感や色に注意し、ガラスを選ぶ。 ・ルーターでガラス側面を整える ・銅テープを巻く ・ハンダ付けする ・パティーナで仕上げ はんだ部分を黒染めし、ガラスを磨く	○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○		a:使う場面と設置場所を想定し、用途を考え、主体的にデザインすることに取り組んでいる。それぞれの工程の意味を理解し、積極的に取り組んでいる。 b:使う場面を想定した創造的な美しいデザインになっている。素材と技法のデザイン上の制約をふまえながら、自分らしい表現が追求できている。 c:ガラスの特性を理解した図案になっている。各工程での用具の使い方を理解し、適切に用いている。完成イメージに基づいた計画的な制作ができている。	・出席状況 ・制作の様子 ・アイデアスケッチや図案 ・制作途中の作品 ・提出作品
3学期	ステンドグラス（展示・鑑賞）卒業制作展	【鑑賞】 ・作品展示と鑑賞 卒業制作展で展示する	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作者の想いや作品について理解しようとしている。 d:自分のデザインや表現について、工夫したところやよさについて他者に説明できる。他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取っている。	・出席状況 ・完成レポート ・鑑賞活動の様子や発言内容 ・鑑賞 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。